

(校長メッセージ3)

未来の学校「夢」プロジェクトについて

学校を取り巻く課題が多様化・複雑化する中で、教職員の多忙化が言われて久しくなっています。これまでに、その解消に向けて取組が講じられてきましたが、有効な改善策につながっていないという現状があります。そこで、静岡県では、平成28年度から3年計画で、「未来の学校『夢』プロジェクト」事業を立ち上げました。具体的には、県内4市町教育委員会をプロジェクト推進地区（小中学校4校をモデル校）に指定し、教職員の多忙化解消に向けて、調査研究に取り組むことになり、清水町教育委員会がプロジェクト推進地区、清水中学校がモデル校に指定されました。

教職員の多忙化解消は、学校運営改善と表裏一体のものであり、取組によって生まれた時間を、教職員本来の職務である授業力向上などの自己研鑽に充てることができます。

具体的な研究の視点としては、次の2点に取り組んでいきます。

(1) 校務の整理

学校行事を含めた教育課程の見直し、会議の方法や手続きの見直し、文書事務の精選・効率化、校務支援ソフトを活用した事務処理の効率化などを行うことで、教職員の多忙化解消を目指していきます。

(2) 教職員の意識改革

勤務時間の厳格な管理（退勤時刻の上限設定）をモデル校4校の共通実施事項として、その中で職務を遂行するタイムマネジメントの考え方の浸透を図ります。また、引き続き、外部人材の積極的な活用を図っていきます。

いずれの視点も、生徒の姿でその成果が検証できるような研究となるよう実効性のある取組を模索していきます。また、今年度は、清水小学校、西小学校にも協力校としてお手伝いをしていただいております。さらに、来年度は、町内5校にこの取組を広げていく予定です。

今回は、この資料をPTA理事会への説明資料として作成し、今後ホームページへ掲載することで、保護者や地域の皆様の御理解を得ていきたいと考えています。また、来年4月には、静岡県教育委員会義務教育課の担当者に来校していただき、PTA総会において、この事業の趣旨説明を行っていただく予定です。次ページ以下の資料は、県の「未来の学校『夢』プロジェクト」委員会で示された資料です。

学校運営の中心は授業であり、学習指導の充実は本校にとって重要な課題となっています。保護者の皆様には、どうかこの事業の趣旨を御理解いただき、今後展開されていきます取組への御協力をお願いいたします。

H28 未来の学校「夢」プロジェクト事業概要

義務教育課

1 事業概要

学校を取り巻く課題が多様化・複雑化する中で、教職員の多忙化が言われて久しい。多忙化解消については、「業務を減らす」、「人を増やす」などの対応が考えられるが、有効な改善策がないのが現状である。

そこで、未来の学校「夢」プロジェクトを立ち上げ、県内4市町教育委員会に対し、3年間指定(モデル校4校)し、教職員の多忙化解消に向け、研究する。研究の柱を3つ、研究の視点を2つ設定し、過大な業務を見直したり、教職員の意識改革を図ったりすることで、未来志向的な学校運営モデルを示し、他地区への波及効果や県施策に結びつけていきたい。

2 研究を進める上での共通理解

(1) 研究目的

教職員の多忙化解消は、学校運営改善と表裏一体であり、その成果は、子どもの姿、教職員の姿で表されるものであること。

(2) 研究の3つの柱

ア モデル地区を指定し、集中的な人的配置を行い、加配成果をもとに、今後の施策に反映すること。

イ 市町教育委員会や大学等と共同で研究を進め、外部の視点を取り入れること。

ウ 県教育委員会だけでなく、知事部局や市町とも連携し、調査・報告等の精選を進める。

(3) 研究の2つの視点

ア 校務の整理

イ 教職員の意識改革 ※できれば保護者・地域の方々の意識改革も…

3 取組内容

(1) 県教育委員会が進めること

ア 未来の学校「夢」プロジェクト委員会の立ち上げと開催

イ 加配教員やスクールカウンセラー等の重点配置

ウ 知事部局等へ調査報告文書の実態調査

エ 各学校への調査報告文書の精選

(2) 市町教育委員会が進めること

ア 学校多忙化解消委員会(以下委員会という)の立ち上げと開催

イ 市町教育委員会としての取組

ウ モデル校の実践の周知・拡散

(3) モデル校が進めること

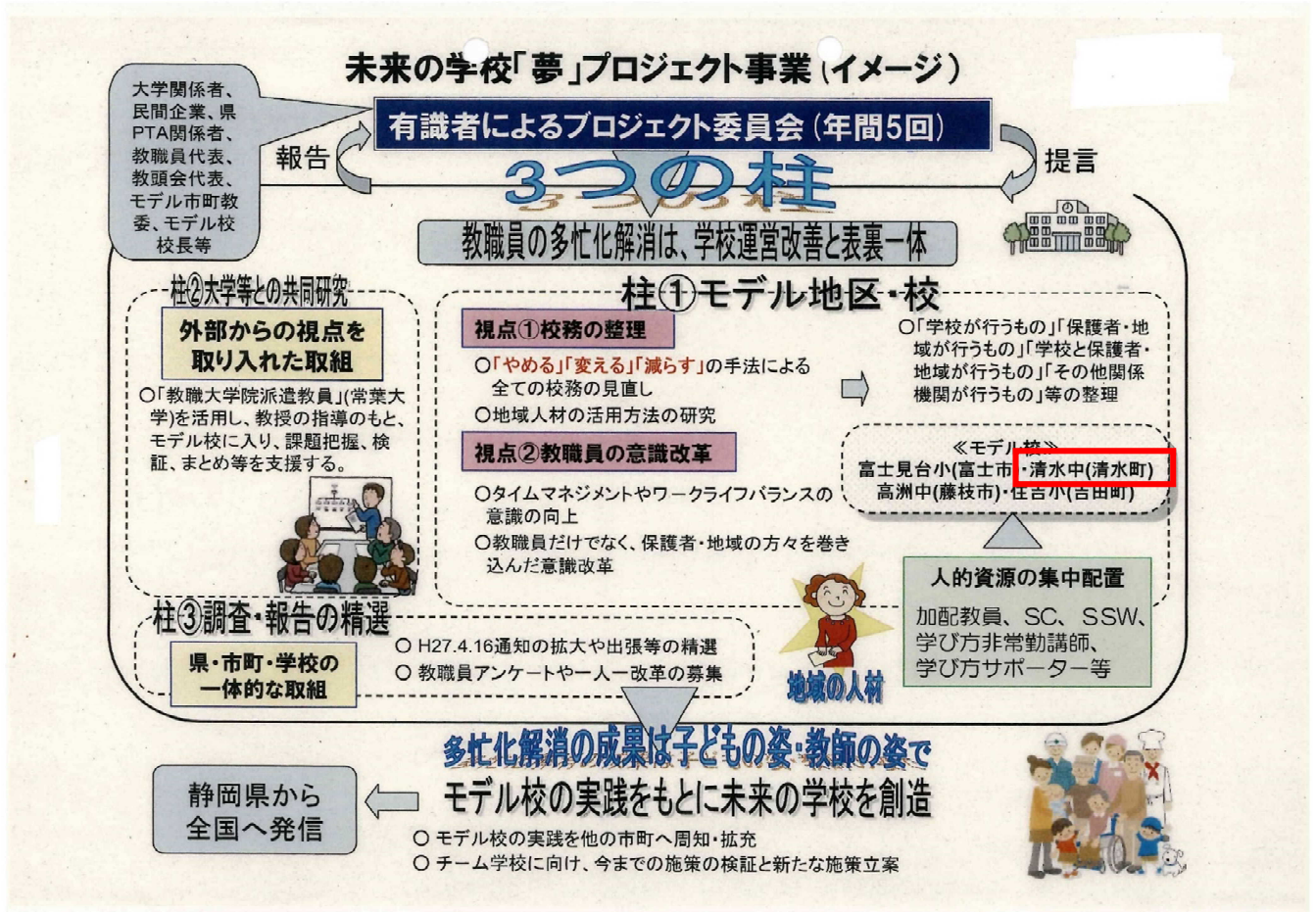
ア 校務の整理と教職員の意識改革を2つの視点として、研究する。

イ 加配教員は、教頭及び教務主任の授業時間をある程度受け持ち、(校長の指導のもと)教頭と教務主任が連携し、教職員の多忙化解消に向け、様々な取組を研究する。

ウ 全ての校務を、「やめる」・「変える」・「減らす」の3つの手段で見直し、学校運営改善を図る。

エ スクール・カウンセラーなど、地域の外部人材を巻き込んだ取組を行う。

オ プロジェクト委員や県教育委員の訪問等で、研究成果を発表する。



は芹澤

(勤務時間の上限設定の実施について)

「未来の学校『夢』プロジェクト」のモデル校4校では、本年度の試みとして下記のように、2ヶ月間にわたり、勤務時間の上限を設定・管理することで、校務整理の促進、教員の意識改革を図ることになりました。

1 勤務時間の上限設定

11月21日(月)～1月20日(金)までの2ヶ月間に、勤務時間の上限を19:30と設定いたします。年度当初から予定されていた会合や緊急対応を除き、この期間は全教職員が19:30までに退勤します。

2 勤務時間外の電話対応について

上記期間中、19:30以降は原則として留守番電話での対応となります。時間外の急を要する緊急対応につきましては、後日連絡方法をお知らせいたします。

以上、モデル校共通の取組として、ご理解・ご協力をお願いいたします。